

千葉県町村議会議員研修会

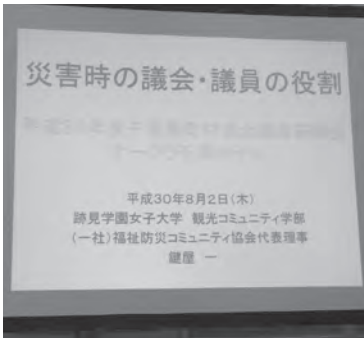
8月2日、平成30年度千葉県町村議会議員研修会が、オークラ千葉ホテルで開催されました。

研修会では、跡見学園女子大学教授の鍵屋 一氏による『災害時の議会、議員の役割』と、新潟県立大学准教授の田口 一博氏による『町村議会のあり方に関する研究会とこれからの地方議会』と題して講演が行われました。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災、平成28年4月14日・16日に起きた最大震度7の「熊本地震」を事例に、正常化の偏見「自分は大丈夫

夫」の意識を変えることや、高齢化が進む中での近所付き合いの重要性など、地区防災計画の重要性について多くを学びました。

人口減少による地方議会の問題提起として、地域が抱える様々な問題を全国の各地域の実情を具体的な話の中で報告していただきました。町議員として、災害時の地方議員の果たす役割、そして議会改革の参考となることの多くを学ぶことができ、有意義なスキルアップに繋がる研修会となりました。



町議会議員研修会

今年度の町議会議員研修会が、役場第1会議室にて、10月11日に行われました。東京大学大学院法学政治学研究科の教授、金井 利之(かない としゆき)氏を講師にお招きし、「人口減少時代の自治体議会」という演題で行われました。

はじめに、政府が打ち出した「地方創生」は失敗が予定されていて、これを事実上認めたという話から、現在総務省で行われている自治体戦略2040構想研究会の概要とこれに関する見解、そして今後、自治体としてどんな考えを持って行けば良いか等、解りやすくご説明いただきました。まとめとして、2040年に向けて、世界に先駆けた人口減少に対応した社会経済モデル



『人口減少時代の自治体議会』

～住民と落ち着いて議論し、
時間をかけて準備～



になることが求められ、それはこれから戦略的に作れるものであり、自治体が住民と落ち着いて建設的な議論をし、時間を掛けて準備ができるようにすべきということでした。

これからどのような変化が横芝光町に求められるか解りませんが、議会議員として、いつでも住民の皆様の意見が最大限に反映された判断を行わなければなりません。今回の研修での知識を生かしながら、今後も邁進してまいります。